

薬液注入装置

標準図番号 A0702B

クリコーター[®] BX-30型用PEタンク 取扱説明書

—適用機種—

30L
50L
120L

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

取扱説明書を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または傷害を負ったり、物的損害の発生のおそれがあります。

- タンク部の取扱につきましては、本取扱説明書をご覧ください。定量ポンプ部の詳細につきましては、別冊の定量ポンプの取扱説明書をご参照ください。
- 本製品の故障による損害、その他本製品を使用することによって生じた損害について、弊社は一切その責任を負いかねますので、ご了承ください。

 **KURITA**
栗田工業株式会社

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には安全に正しく取り扱っていただくため内容をつぎのように区分して表示しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

- この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

- この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性、及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い

- 機器そのものの性能・寿命確保のため必ず守っていただきたい内容を示しています。

備考

- 補足説明



警告

- 管理者以外の人の手にはふれない場所に設置してください。
- 接液部の作業の時には必ず、使用している薬液に応じた保護具（ゴム手袋、マスク、保護メガネ、耐薬液作業衣など）を着用してください。
- 感電のおそれがあるため、濡れた手で操作しないでください。



注意

- 直射日光や紫外線により変色や劣化しますので、日よけなどを設置してください。
- 薬液比重が 1.3 以下の薬液を使用してください。これ以上のものを使用するとタンクが破損する場合があります。
- ガスが発生する液体の場合、周辺に影響を与えるおそれがあります。
- ポンプの運転時には必ず保護カバーを取り付けてください。点検等で保護カバーを外すときは必ずポンプの運転を停止してください。
- 継手とホースナットとホースは必ず付属品、および指定のものを使用してください。事故や故障の原因となります。
- タンクは樹脂製のため強い衝撃を与えたり、上に乗ったり、重量物を置いたりしないでください。破損のおそれがあります。
- 薬品の入れ間違いを防ぐため、必ず確認してから投入してください。
- 水で影響を受ける薬品を使用する場合は、水張りテスト後、水を完全に排出し、充分乾燥させてください。
- タンク材質を腐食させる薬液を使用しないでください。
- タンク内では、希釈・混合・溶解をしないでください。
- メンテナンス時に、サクシヨンバルブを閉める場合は、その前に必ずポンプを停止してください。
- ホースを外したり、ポンプヘッドを分解する前に、必ず吐出側配管の圧力を抜いてください。
- ホースは、抜けないようにしっかり差し込んでください。
- ねじを強く締め付けないでください。破損のおそれがあります。

お願い

- タンク内部や継手部などは 3 ヶ月に 1 回点検を行ってください。

備考

- いつでも部品交換や簡単な修理ができるように、消耗品の保有をお勧めします。

商品の確認

荷ほどきされましたら、まず以下の点についてご確認ください。

(1)ご注文どおりの製品ですか？

(2)付属品は間違いなくついていますか？ 下記の付属品リストにしたがって付属品の確認を行ってください。

(3)輸送中の振動や衝撃でいたんでいませんか？

(4)ねじ類がゆるんだり、はずれたりしていませんか？

細心の注意を払って出荷しておりますが、万一お気づきの点がございましたら、販売店または当社までお知らせください。

●付属品リスト

| 付属品 | ユニットとして出荷時 | タンクのみ出荷時 |
|-------------------------|---------------|----------|
| 塩ビブレードホース* | 3m | — |
| サイホン止めチャッキ弁* | 1個 | — |
| アンカー固定用平座金 (50L、120Lのみ) | 4個 | 4個 |
| 薬液名シール | 1枚 | 1枚 |
| 取扱説明書 | タンク用：1 ポンプ用：1 | タンク用：1 |

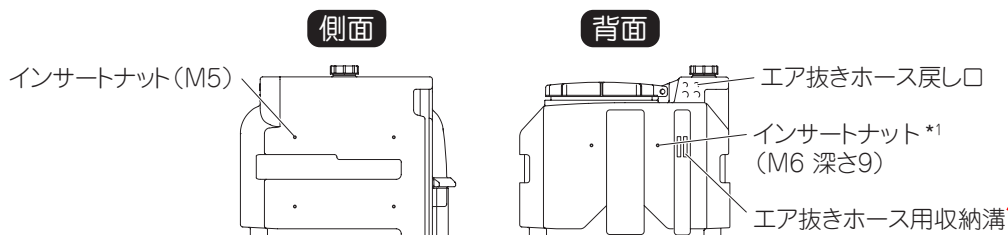
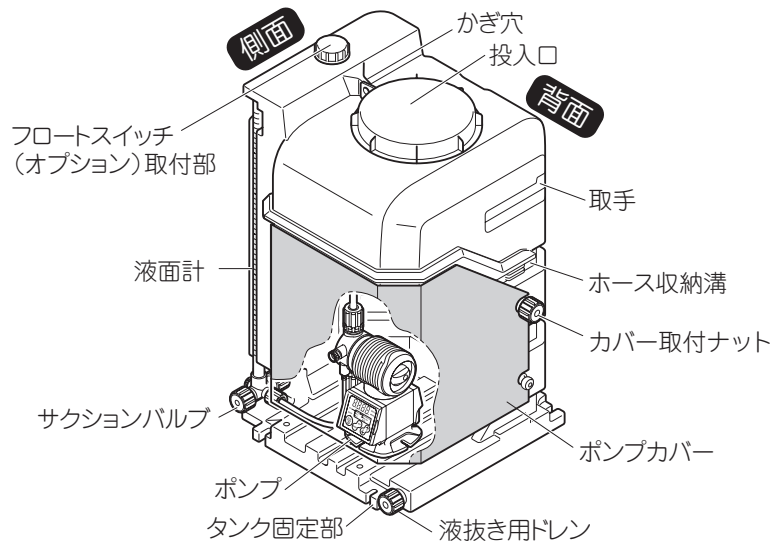
* ボイラー仕様の場合、ホースはナイロンチューブ2m、サイホン止めチャッキ弁の代わりにボイラー用ストレートチャッキ弁（SUS304製）が付属します。

お願い

- 薬液名シールを注入する薬液に応じてお選びいただき、見やすい位置に貼ってください。

各部の説明

●50Lの場合



削除

*1 50L、120Lのみ

* インサートナットの耐荷重は重心位置がタンクから100mmの場合、30L：3kg、50L：7kg、120L：15kg。

据え付け



注意

- 直射日光や紫外線により変色や劣化しますので、日よけなどを設置してください。
- 水平な場所に振動しないように固定してください。傾けて取り付けると吐出不良や吐出不能の原因となります。
- タンク本体を市販のオールアンカー（M8）などで、固定してください。
液が少ないと不安定になり倒れることがあります。
- 50L、120L を固定するときは、付属の平座金を使用し、締付トルク 10N・m 以内で締め付けてください。

●吐出側配管について

吐出側配管は、ホース収納溝に通してください。

●吸込側配管について

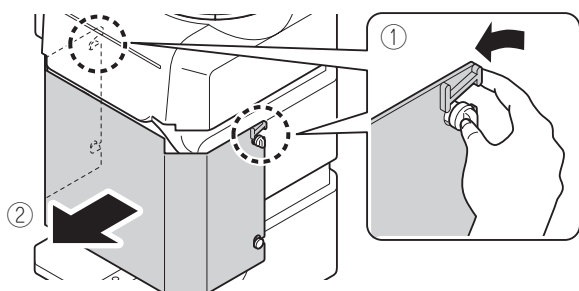
吸込側は配管された状態で出荷されています。各部にゆるみがないかどうか確認してください。

●水張りテストについて

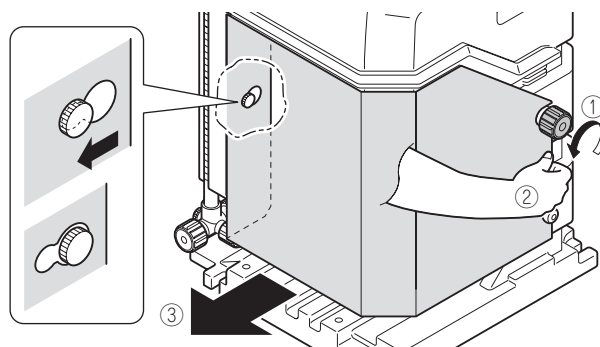
配管終了後に水張りテストを行い、液漏れのないことを確認してください。液漏れした場合は、ねじ類の増し締めやシール部へのゴミの付着などをご確認ください。

ポンプカバーの取り外し

●30Lの場合



●50・120Lの場合



電気配線

BX-30型をセットでご注文いただいた場合には、あらかじめ電源コードが接続されています。定量ポンプの取扱説明書に従って結線を行ってください。

結線時に、ポンプを取り外す必要がある場合は、「保守点検のポンプの取り外し」を参考にしてポンプを取り出してください。

運転



ポンプの運転を始める前に以下のことを確認してください。

- 配管にゆるみや外れはないか。
- サクションバルブが開いているか。
- ポンプカバーが取り付けられているか。
- タンクに液が適切な量入っているか。

- (1) サクションバルブのつまみを左方向に回し、薬液をポンプ部に流れるようにしてください。
- (2) ポンプの運転は別冊のポンプの取扱説明書に従い、行ってください。

保守点検



● ポンプを外したり、点検する場合はサクションバルブを閉め、配管内の圧力および薬液、液面計内の薬液を抜いた後に作業してください。圧力・薬液を抜かずに作業すると薬液が噴出し危険です。

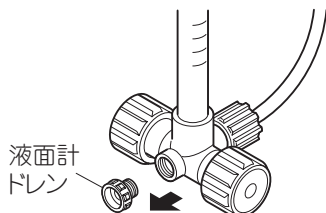
●点検箇所

- (1) タンクの固定状況（アンカーボルト等）や、据付部の状況（基礎等）に異常がないか確認してください。
- (2) タンクのひび割れ、変色、変形などがないか確認してください。
- (3) 薬液タンクの液量が充分にあることを確認し、不足している場合は補給してください。
- (4) タンク内に沈殿物がたまったり、液が白濁するなどの異常がないか確認し、もし液質の劣化があれば、タンク内を洗浄した後、新しい薬液と全量交換してください。
- (5) 配管ラインが外れたり、破損がないか点検してください。
- (6) 継手部などから液漏れがないかチェックし、もしあれば増し締めしてください。
- (7) パッキン、Oリングは必要に応じて、または交換時期になりましたら交換してください。

●ポンプの取り外し

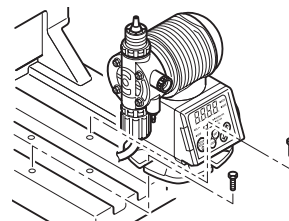
日常の点検はタンク部に組み込んだ状態でできるようになっています。
ポンプの取り外しが必要な場合は、以下のようにしてください。

- ① サクションバルブを閉める。
- ② 液面計ドレンを外し、液面計の残液を抜く。
- ⑥ ポンプを固定している2本（機種によっては4本）のボルトを外す。



* 液面計ドレンの取り付け時は、工具を使わず手で締めてください。

- ③ 吐出側配管内の圧力および薬液を抜いてから吐出側継手のホースナットをゆるめ、ホースを外す。
- ④ エア抜きホース内の液を抜き取り、ホースを外す。
- ⑤ 吸込側継手のホースナットをゆるめ、ホースを外す。

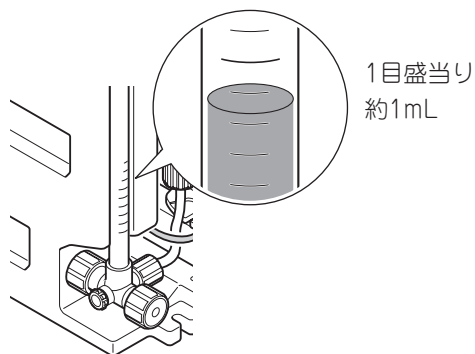


ポンプの取り付けは、上記の逆の手順で行ってください。

吐出量の確認

液面計を使用して、簡易的に吐出量を計測することができます。

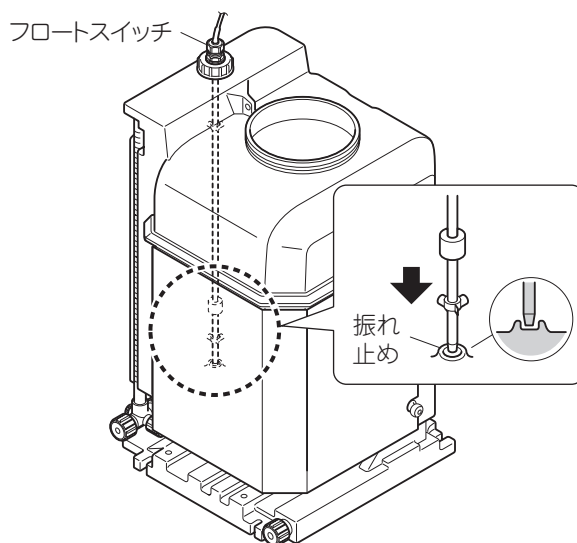
- ①ポンプを停止する。
- ②サクションバルブを閉める。
- ③液面計の目盛りを確認する。
- ④ポンプを一定時間運転し、再度停止する。
- ⑤液面計で減った量を確認する。



オプション

●フロートスイッチ

オプションでフロートスイッチを購入された場合は、薬液を投入する前にフロートスイッチの先端がタンク内の振れ止めに収まっているかご確認ください。

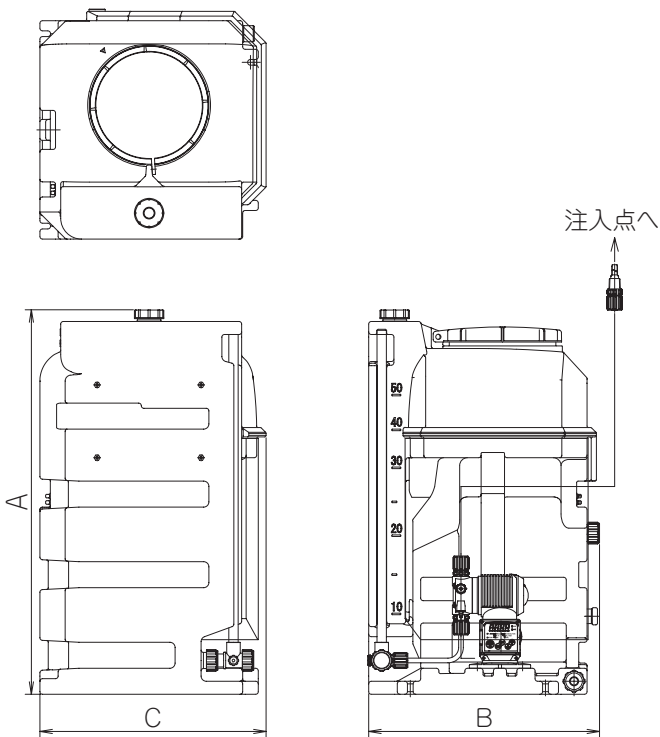


仕様

| 項目 | 仕様 |
|------------|---------------|
| タンク材質 | PE |
| サクションバルブ材質 | PVC |
| ドレンキャップ材質 | PVC |
| タンク容量 | 30・50・120L |
| 使用温度 | 0~40℃ 凍結しないこと |
| 適用液比重 | 1.3以下 |

※パッキン、Oリング材質は、ポンプがNT、TLのときはEPDM、Bのときはフッ素ゴムとなります。

外形寸法図



単位：mm

| | A | B | C |
|------|---------|-------|-------|
| 30L | (602.5) | 390 | (335) |
| 50L | (739.5) | (444) | 435 |
| 120L | (869.5) | (524) | 515 |

保証

- 保証期間はご購入の日から1年間です。

消耗品

交換時期は、使用開始後1年です。（当社における試験設備による一定の条件下（室温・清水）の場合です。現場における個々の条件で変わりますので、消耗品は交換時期を目安に早めに交換してください。）

| 部品名 | 材質 | 1台当たりの数量 | 推奨交換時期 | 参考価格 |
|---------------------|-------|----------|--------|--------|
| サクションバルブ パッキン | EPDM | 1 | 1年 | 2,000円 |
| | フッ素ゴム | | | 3,000円 |
| 液抜き用ドレンキャップ パッキン | EPDM | | | 2,000円 |
| | フッ素ゴム | | | 3,000円 |

※パッキン、Oリング材質は、ポンプがNT、TLのときはEPDM、Bのときはフッ素ゴムとなります。

- サクションバルブの液面計ドレン部やニードルハンドル部から液漏れ発生の場合はサクションバルブ一式交換してください。

栗田工業株式会社

●お問い合わせは……

■ 本社・支社

本 社：〒164-0001 東京都中野区中野4-10-1 ☎ 03(6743)5000
大阪支社：〒541-0041 大阪市中央区北浜2-2-22 ☎ 06(6228)4800

■ 支 店

東北支店：〒980-0014 仙台市青葉区本町1-12-30 ☎ 022(225)6331
名古屋支店：〒460-0003 名古屋市中区錦1-5-11 ☎ 052(203)2851
広島支店：〒730-0013 広島市中区八丁堀3-33 ☎ 082(221)4471
九州支店：〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-1-1 ☎ 092(472)0911

クリタホームページアドレス：<https://www.kurita.co.jp>

OE1350



| |
|--------------------------|
| MM-072(1)- 2022/3/III |
|--------------------------|